月堂見聞集　十六

共廿九

内閣文庫
番號 和 34397
冊數 29(16)
函號 150 136

内閣文庫
和書 類
三四三九七號
二九冊
一五〇函 二架

糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり
綴じ部（喉部分）の文字など開きが不鮮明な箇所あり

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

河野豊前守殿御觸書　奥筋大風洪水
佛光寺門主御入室　年寄誓詞文
禁裏地震御殿出来　江戸表尚歯會
堂上年頭式礼　大坂大火
松平紀伊守殿郡山城受取行列
松原稲荷町親敵討首尾
長崎年寄共御申渡状

月堂見聞集巻之十六

従享保八卯十月
至同九辰七月

惣町中へ申渡し書附覚

一 京都町中家屋敷売買之時物振舞并礼銀等
前々被仰付候処ニ町々ニおゐて家買候者振舞人ニ礼銀
八百匁余ニ而も取候由ニ而其上用人ニ少々遠慮しかし
十分ニ振舞候由相聞候事
但家屋敷売買之節振舞
取候向ニ而も持家之沙汰有之ニ付
一 惣町之町代立会致居候而家持ハ町代ニ相渡可申事
町代礼銀之儀ハ

一 家屋敷売買之節町振舞并振舞代として
銀子等差出候所、以来右之振舞相止メ地主ニ而
出候ハヽ是ニ而も振舞致候者も有之候得ハ
借屋者之儀も右之者町役人へ相達シ借家
差置候ハヽ借屋ゟ町役人江も申達候分ニ而
之者共振舞并ニ而相渡候ニ付、借
屋者ゟ借受候儀も有之候、以来者相止可申事

一 地借家守之儀ハ宿老共江申達候而
借之ものゟ町役人江申達候儀も可有之候
相定候以来右地借町中之者ニ而者借主も
申立候ハヽ以来右之節ニ而者町役人ゟ
是迄ニ而差出候銀子番所江申達候
町役人用捨仕候ハヽ相済可申候事

地借町人共ゟ家主江相届候ハヽ家主ゟ町役人江
申達候者其外一同ニ而相済候事
一 借家之者ゟ町役人江相届候而も可有之候
町之者共儀借家之者共町中ゟ申付候事
五人組之中ニ而申合、町中江も相達候
上ニ而借家善悪之儀町役人江相届申
定候得共、ゟ町役人并町中ニ而申合、町
中ニ而も申候者共町中ニ而相済候
遠慮之者ニ而可有之候得共、町方ニ而申付候事
一 町年寄
町之者共相対ニ而地主ゟ家主ニ而も
済候儀ニ而振舞之者共ニ而も申付候
地借人之者共ハ格別致候者共同町之

出ても申間敷候ハヽ其品ニより急度可申付候ハ此旨之儀も勿論之事
相背候者於有之ハ可為曲事候
了簡可有之事

一 地頭代官より申付候儀ハ諸事相談之儀中間ニ相極候
之儀不依何事ニ申付候儀ハ其所ニ而不及申
時々之儀候ハ可申付候間其所之者共ハ兼而申合
其趣可申付候ハヽ○公儀より御法度之儀可相守候

一 百姓之儀ハ不依何事ニ申出候ハヽ其所ニ而可相談
其品ニより其者共ニ申付候ハヽ○公儀より御法度之儀
其者共ニ可申付候事

一 御法度之儀相背候者於有之ハ申出候ハヽ其所之者
可申付候事 前々より申付候儀ハ弥以可相守候
其者共ニ申付候ハヽ其品ニ可申付候事

一 其所之者申合候ハヽ其所之者共ニ申付候
其所之者共ニ申付候儀ハ其所之者共ニ急度可申付候
○公儀より御法度之儀ハ不及申其所之者共ニ急度可申付候

一 乗物ハ其所ニ而御法度之儀者可申付候ハヽ其者共ニ急度可申付候
御法度之儀其所之者共ニ申付候ハヽ○公儀より可申付候事
其所之者共ニ申付候儀ハ其所ニ而可申付候事

一 其者共ニ申付候儀ハ其所之者共ニ急度可申付候
其所之者共ニ申付候ハヽ○公儀より申付候ハヽ其者共
之儀ハ不及申候事
　其者共ニ申付候儀ハ其所ニ可申付候事

一 家中之者共ニ申付候儀ハ其所之者共ニ急度可申付候
諸事之儀ハ○公儀より其所之者共ニ可申付候
其所之者共ニ申付候儀ハ其所之者共ニ可申付候
御法度之儀可相守候事

一 諸事之儀ハ其所之者共ニ可申付候
一 諸事之儀ハ其所之者共ニ可申付候
一 諸事之儀ハ其所之者共ニ可申付候

一 寺社領并寺社方御取扱之儀付
取扱之儀不行届之寺社有之
右之趣ハ兼々相心得可申候、一躰寺社
寺社之儀御定之外ニ取計申間敷候
相心得候共今般此所ニ而申付候段
寺社之者共町中之者江申聞セ
手前ニ而取計候得者追而御吟味之上
寺社方中江相届之上可申付候
其段遂吟味之上相心得可申候
寺社とも宜敷可相心得者也
可相心得候

享保八年卯十月

惣町中江戸中御制度　横町之町々
町中并在々寺社料として取立
町々ニ而取計候者有之候ハヽ
相心得町代共江申付候
御役所江相届可申候
町々ニ而寺社之者共
而者法度之儀ニ候得共
之御触書之趣ニ付町代
之事
右之趣可相心得候
町中之者共申付候
寺社之者共相届候
代々町中江可申渡候

常御鳴物停止被仰出候ニ付而下之通宗旨
可也

卯十月

年寄共連判之覚書　横田

一 三宅ニ被仰付
右可然之人　年寄

一 二宮ニ被仰付
右可然之人　大目

右之趣ニ付江戸表へ被申越候通
江戸表ニ而被仰付候
年寄共ニ被仰付候

卯　十月

右御書付六宮へ渡シ　卯十月

右者御河内殿御渡候ニ付人数之人数宗旨之人数
御人数之儀ニ付当月十日御申付[illegible]
被仰渡書付之通ニ御座候間可被相心得候
右之通可被申渡候

以上

十月何日

一 宇治
来ル廿日十五日参上可仕候
登城　御役　并　右之
右之通　供廻　中間　御書
右之通　御手当　可被　御指図

右御河内殿御渡候付御手当者宮之御役所へ
人数之儀ハ右之通ニ而御座候
宗旨之儀ハ此度被仰付御人数ニ付
相尋候而可被申聞候

一 十月七日[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 十月十八日[illegible]

[illegible]

十月十六日ゟ

一 禁裏御所泉水浦筋[illegible]候ニ付御普請在之
入札申付候者ハ[illegible]十六日ゟ[illegible]門[illegible]
相勤候様[illegible]申付候

一 御手伝 禁裏御所御作事[illegible]御目付中[illegible]
御番衆[illegible]申渡[illegible] 十月十

一 宮様御茶会方御用
御祝儀 [illegible] [illegible]

一 右[illegible]御礼[illegible]御普請[illegible]
人[illegible]
御菓子[illegible]
[illegible]

以上

一 九月[illegible]禁裏[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 十月十[illegible]日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
十月[illegible]

一 寛文六年八月二日権中納言正三位
綱吉 橘 河内 従四位下参議
内 千六百石 四年 下向 宮之○事
御子 御名 六位 御判 御○事
右之通御沙汰有之節所存之品被仰付
正二位下参議之義付候
御使ニ相立相 相成候旨被仰
安心之事成候由 申候也

一 寛文八月廿余
右ハ二條御所御参内 宮之○ 御祝
今度御代ニ付候 右代官之見分之外者
其之所 被為成候 出候御代々
被為日本之候之御書付 旨相成候也
之上

一 寛元八月 八日丑刻 奥州筋関東筋大風洪水
其上浅間 焼 候 石 降 候 家 之
百姓家 被 崩 候 其 長 寿 六 年 之 事
其 信 濃 之 家 大 河 洪 流 致 候 故 へ て
相 成 候 是 山 崩 れ 水 出 候 に て 田 畑
流 失 大 分 損 亡 致 候 由 承 申 候 所 存
大 風 ニ 而 田 畑 地 損 し 洪 水 流 失 候 ふ
之 事 出 来 候 由 之 沙 汰 之 通 ニ 而 富 饒
之 事 に 候 処 他 ハ 別 而 田 畑 荒 地 と 成
候 所 ハ 関 東 筋 信 濃 相 成 以 前 御 仕 置
大 風 之 奥 筋 此 年 万 石 余 も 損 地 相 成 候
中 相 成 一 儀 も 無 之 旨 立 御 沙 汰 有 之
所 之 者 共 ハ 未 年 迄 八 月 ニ 至 候

但ハ柱之上ハ二寸八分ほと本ニ而ハ本之柱も高之候
間之不為之田畠ニて可有之候御事也

一 本尊安置候仏ハ　十月　大事ニ付
右日之内ニ御札日限之覚　日ニ而　請取候方
同日之内御札　江戸役人
前ニ御札依左之通ニ日限相定候間其所之
ニ御札納候ニ可相渡事
同日相

一 毎月朔日并昨日人等之所ニ而相済候ニ付候段宜
佛前ニ而相渡ニ付大ケ間敷候ニ付可相済事
御経者ハニて之為ニ而可相済事
同十八日相

一 第之所御手入八百人余
金銭　長　施行　其外　御供　御布施
右ハ大坂御所前ニ而雪備ニ之節之御物格別人
宿坊之所ニ日之ニ御札所迄御所ニ付候之
見合候間之ニ日限御勤候ニ付相渡ニ付候之
兼テ申入置候可相勤事

一 諸事向後宗門之節ハ高之通ニ之節
御入候様ニ可申付候旨ニ御座候事
可相勤候也　以上

一 十月十日之御所ニ而御勤之節御免ニ而可相勤事
相定候様ニ付候ニ而御座候ニ付御座候
諸寺之御勤ニ御座候ニ付相勤候事
寺之ニ而御座候ニ而御座候ニ付年来之御座候

一 [illegible]

[illegible]

一 十月[illegible]二条[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 鴨川[illegible]二条[illegible]三条橋[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

山城[illegible]

[illegible]

遠[illegible]四百八十七町　同先[illegible]

一
正月廿日　同先　牛込日役　半行
大名日役　壱貫文
十月十六日母親孫兵衛組頭事に付これと
申者○甲斐守へ附置候同組頭福田より御用番へ届
御目付衆○甲斐守方に而候へ有之候得共格別之
村々に而候へハ入込候付右○之通り候処御目付へ申
付候而後甲斐守中にハ出候得共何候へハ合候処有之候へ
何某にて候右相手之者ハ無之候而後ニ而候ニ付一方ハ三人
三人組備前之住人御用番江申遣し候得共中之通り
平蔵事相手ハ其後ニ而候ハ入御目付へ申候而公之ハ手元ニ而候人
余所之者共ハ其後ニ付有之候得共右之者ハ中付来
候得共相手之者ハ其後之事ニ付手伝候ハ何事も無之
白昼之由申候ハハ如何ニ付而後ハ御役ニて候ハ此二所之相済

若者共往来ニ而候ニ付早々相手之者ハ甲斐守相談之上ニ而之宝
右之男女共ニ而候之由ニ而其後ニ而百姓共相済之上山
之方へ向ニ而候得共母親○御宗旨之事ハ申候
ニ而候ニ付孫兵衛付候趣相手之孫兵衛之方へ相渡候て安
堅ニ而右相手之向ニ而御用之義ニ付其外之方ハ七人之内
之者ニ而其後相談之上ハ相手之方ハ右御用番之母親へ
相手之者共其外ニ而右之方ハ往来ニ而右相手之者共ニ
密々ニ而往来ニ付而何某之者ハ其外ニ而候得共[illegible]
其後ニ而其外ニ付御用之趣ハ可被仰付候之様ニ
右之者共ハ入候得共右御用之由ニ而右之趣ニ付何
母親孫兵衛ハ其外中二ケ所ニ付如何ニ付御下知
右之者共ニ而而後通達之上御用番相手之往来之由[illegible]
大方流ニ而ハ其外ニ付御尋ニ付事済之上ニ而して

一 無宿之者被成候得ハ其後何方ニ而も
手負候ハヽ早々其所之者ニ而取押置
御訴申上候様可被仰付候 一名主 組頭 惣代
可申上事 急度可被仰付 其節之 証文
二人男子ニ而も共ニ被申付候 急度可申付
道中筋之者ニ而ハ 其所之名主ニ申付
其所之名主 年寄召連 罷出 其所之者
切支丹宗門之儀者 かねて被仰付候通
急度相守可申候 其外ニ而 不審成者
住居いたし候ハヽ 早速申出候様可致
被申付 其所之 名主年寄 五人組共ニ
急度申付 早々 申上候 武家方
御役人 被申付候 以上

一 高札之通 急度相守 可申者也

一 右之通 相心得 町中 可相守者也
中追放之事
一 江戸并近国 其外 御構場所
之外 申付候 御構之儀 別紙之通
相心得可申候
一 御構場所 ○ 町中 之儀 別紙
右之通 相心得 可申者也 三月廿日
一 町中 并 町続之者共 ○ 其外
中略 之儀
一 ○ 其外之儀 ○ 申付候 右之通
一 ○ 其外 町中 相心得 可申候 急度可申付候
一 町々 組合 ○ 可相守者也
右之通 御触之 三月廿日

一 京都町中家売買之時町中へ出銀大分之事ニ付
　　元禄四年未正月廿三日ニ触有之
ニ候事
一 同町町振舞之儀ハ振舞停止之旨町中へ一向ニ停止ニ候事
一 同町年寄五人組共ハ其町之儀ニ候間町中之分町へ入用
年寄ニ而も其町ニ而も相談ニ仕候而町中ニ付可申候ハヽ
年寄并家持共ハ右之通可相心得事
町人之事ニ候
　附 町中入用之儀ハ前々より之通可相守事
　　右之通相触候事
一 為相対之家屋敷売買之節ハ其町中為相談売主買主ヽ
家持借屋共ニ町中へ出銀之儀ハ其町之儀ニ付
町中へ出銀振舞之儀ハ前々之通停止之事

一 京都町中借屋ニ付前々より町中振舞之儀町中へ出銀有之
家売主も買主も町中へ出銀ニ付候ハヽ売買之代銀二十分一
可為出銀事
　　　午正月日　　丹後
　　　　　　　　　信濃
一 家屋敷売買ニ付売主買主より出銀并振舞
之儀前々より停止ニ候処此度町中へ相触候事
候ハヽ町中より可申出候
右之通京都町中へ急度可相触者也
　元禄十三年辰十二月日相触之
　　　　午正月日　　讃岐　丹後
一 京都町中家屋敷売買之節町中へ出銀之儀
可為停止旨元禄十二年辰十二月ニ相触候

様御ことに候て月番之御用番ニ而御前へ参り候
月番之御備候へ参る大御所へ申付候而千石ニ限
被仰出候ハゝ若々聞へ参候而御代の事
例之候之分御賞賞御等之賞被仰付候
御賞御賞御用番御中に付年寄衆へ御代ニ而御
御賞賞之御賞之御代聞候而其代之御月へ参
年寄衆へ之被仰付候代へ一通り之茶御聞茶ニ人
之御役人へ之御用ニ而御年寄衆へ御被之候
以御相之御之候人之御用之御賞賞御候
御家賞ニ而へ之御例之
右之御賞之も候へ申遣年寄衆へ御年寄之事
一 年々御月中ニ而御之事也
右之御付 御役 御使 御用

一 十二月晦日 年寄衆へ
一 茶壱斤 御年寄衆より
　　　　　　御使 御使 御役
大坂方之御茶之御賞御用ニ而御代ハ御座候人
御之御年之ハ之御之御進ニ而御用之年寄衆之御
御之年之ハ 右御賞之之御用之御前之御賞之人々御之御用
之事也　　　　　　　之之
一 十二月廿六日六条有栄卿御門跡常勤御法事　十歳
仏光寺御門跡之仏光寺御門跡仏光寺ハ二条家へ之
御嗣子古例之候之御之二条家同国之御嗣子
之之仏光寺之御会中御之御用ハ御例之御伊勢之
以御候へ之十二月之御六条家御之二条殿之御之
之御嗣子之御御同日年々御例仏光寺之御

一 真言宗寺院之御代替ニ付諸国ゟ参勤いたし候ニ付此節弟子共
地方ニ而ハ相成かたく候ニ付真言宗ハ御宗旨ニ而も
触頭より願出候而も御同前ニ付如前之通ニ被仰付候
古例ニ而仏光寺ニ而東本願寺ニ而相願ニ付古例之通り
右ニ付可相願

一 享保元年十二月廿六日 寺社奉行 宮寺
寛保 播磨守殿ゟ御尋ニ付申上候 覚
大和守様御役ニ付差上候ニ付御書付を以申上候
諸人ハ寺院ニ而御座候ニ付御寺社奉行所江御届可申上
右ニ付御尋ニ付御書付を以本願寺宗ニ而御構無之候
寛延ニ付可相願候也
同十二年

一 右之人諸寺院ニ而立退ニ付寺院ニ付御構ハ無之候ニ付而ハ御願可申上候
右ニ付明十四日ゟ大目付ニ而同寺社奉行ゟ御尋ニ付
ニ付御構ハ無之ニ付御構ハ不及旨申渡候
御用之ニ付可相願候也

一 諸人寺院ニ付大目付ニ而御寺社方奉行ゟ申渡候ニ付
御構ハ無之段御勘定奉行ゟ申上候ニ付御構ハ無之
御寺社奉行江御届ニ付御書付を以御構ハ無之
御寺社奉行所ゟ相届候ニ付御構ニ付
御寺社奉行所へ相届可申候ニ付御構ハ不及候也
大目付ゟ申上候ニ付御構ハ無之候也

一 右之申上候ニ付御寺社奉行所ゟ申渡候
此者共ハ寺院之寺社奉行所ゟ申付候ニ付而ハ御構
住持之儀ハ寺社奉行所ゟ相届候ニ付差出可申候
其後ニ付御尋ニ付御構ハ無之段申渡候也
同十八日 御届

一　高二千四百石余　宮子文殊丸
右ハ二条御蔵米并ニ大坂御蔵ニ而[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

同[illegible]ノ儀
一　大津[illegible]御代官[illegible]
[illegible]
[illegible]

同[illegible]ノ儀
一　高弐万千五百石余　[illegible]
右ハ大坂[illegible]
[illegible]

同[illegible]
[illegible]

同[illegible]ノ儀
一　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一　[illegible]
[illegible]
以上
一　[illegible]
[illegible]

但し町〻疱瘡并外病人有之候ハ早々可相届候事

十月廿七日触

一 酒井右京亮殿　宮之丞御
大坂御城代被仰付候ニ付御家
来御供之者共并出入之者共
入念相慎之処可申付候事

同廿八日触

一 ...

同十八日触

一 ...

月日　触

一 ...

同十七日触

一 ...

一 表向御返事早速相見不申候ハヽ月番ニ御尋可有之候

一 十月朔日ゟ来ル朔日迄老中方并若年寄衆御礼廻勤ニ付二汁七菜

一 十二月御目見御代替被仰出候ニ付老中方御礼廻勤

一 同日御礼廻勤御目見御代替ニ付老中方ヘ御礼申上候付

二汁七菜御料理被下之御家老并御答御使之

年寄衆へも御礼可被申上候事

一 当月晦日ニ付御奉行衆御使者御礼被申上候

其外御番頭御目付衆御尋之通御渡被成候

御家老御留守居衆へ御届可申上候

御同役ニ而も御役替被仰付候節ハ御届被申上候

年寄衆へ申上候事

一 御公儀御勤方之儀ニ付御用之儀御座候ハヽ

町奉行衆へ早速御届可申上候事

一 御家老衆御届ニ付御見分申上候

一 御公儀御勤方御用之節御使者を以御届可被申上候

一 御公儀御用ニ付御届被申上候ハヽ早速可被申上候事

御役替之節御届申上候

一 御家老衆并御役人衆御勤方御届之儀ハ御年寄衆御届申上候

中老衆へも可申上候御用之儀ハ早速御届申上候

一 御年寄衆御勤方之儀御家老衆御届被申上候

ニ付御目付衆御届申上候

御家老衆へも御届可申上候

一 御用之節ハ御家老衆へ御届可申上候

大目付衆御用御届被申上候

早々可被申上候

子正月

御右筆所　[illegible]　組頭
表右筆　組頭
奥右筆　組頭

町代　[illegible]

一　第壱ヶ条八ヶ条　[illegible]
　　同年[illegible]ヶ条　[illegible]
　　[illegible]ヶ条　[illegible]
大[illegible]　[illegible]

一
[illegible]

一　第三ヶ条七ヶ条　[illegible]

一　大[illegible]　[illegible]
[illegible]

一　[illegible]
　　[illegible]
[illegible]

六角堂ニ而捨子之儀ニ付而京都所司代
所ニ被仰付六角堂家中京都ニ而
右之者共一件ニ付御月番江八月ニ被仰渡候由
御伺之儀京都所司代御代官ニ而候由
被仰渡御渡候由ニ而候故右之者共京都ニ
而候由ニ而同心共申付候一件御目付衆ニ
右御預之者御役人共御下知之上京都所司代ニ
而候由ニ而候右之通相済候所京都所
司代へ被仰候

一　右之儀ニ付京都御役人共御預所ニ而南町
奉行所ニ而御下知之儀二通り大坂町奉行所
右之通御伺ニ付候様被仰付候由南町奉行所
以上

一　京都所司代ニ而御目附手代之衆茂出候而奉申上候
右之者共川口之者共御渡シ候て上京
一　同　大坂町人福井喜兵衛之者共ニ而京都
ニ而預ケ置候ニ付町奉行へ預ケ置候
候　御役人共ニ書付相渡候
一　同　御代官衆御勘定奉行御役人共 御預ケ候
御取計として今　御手代共ニ而申上
一　同断之者共ニ而京都御奉行衆ニ而御預所
京都御代官衆ニ而者共ニ而御番所へ申遣
一　去月廿日京都御役人共ニ而御代官衆被仰付候
御預ケ之者共ニ而一件ニ而大坂御書付ニ而
同断御下知ニ而右之者共御役所へ御渡シ
候ニ付御預ケ之者共上方ニ而御手代ニ被仰候

被下候紀伊守大名方御屋敷御殿大手焼失
出火之節八重洲河岸時分者御火消ニ付延焼之節大手前相焼
此節ニ出火致候ニ付両御丸風向ニ付御堀端通御番所焼失
町方南田町中橋三十間堀京橋南鍋町木挽町築地
三十間堀西岸八丁堀霊岸島佃島御船手向御米蔵
粧町十月廿日京橋御殿風下ニ而大火ニ御殿蔵
御用向ニ而御手伝被仰付候松平越前守
其外御老中方諸大名方類焼大分之事ニ候
一 霜月 從者御供守 常陸守 水野出羽守 大久保下野守
伊豆守殿御老中方御役御免被仰付
一 同 上様御成 稲葉丹後守殿御供役被仰付候
御先手御鉄砲方御役勤候ニ付上意
一 同廿一日 地震在之候

十二月十二日
一 若年寄衆被仰付候 安藤対馬守
大久保加賀守御役儀被仰付候御老中列御用部屋入
御用向被仰付候十一月中御免之処
去ル十五日御本丸御役儀ニ付御老中方被仰付
御直々御役儀被仰付候ニ付御礼申上
御達之
一 十二月十九日夜高輪辺ゟ出火致候而芝三田辺迄焼失
三田同所御屋敷ゟ本所深川辺迄類焼中山備前守
御屋敷等迄焼失之処
一 増上寺御霊屋御殿向其外御堂類焼致候
黒田御殿向其外御役所被仰付候御蔵前
松平下総守殿へ御預ケ之上御手伝被仰付候
本所深川両国橋辺迄焼失御役所

一 敬耕院殿　同探山并寺社奉行同[illegible]
寺社奉行同[illegible]所々[illegible]被遣候
林大学頭御[illegible]相済[illegible]御役[illegible]被遣
之[illegible]御作法之通[illegible]相済候[illegible]
御目付[illegible]御本丸上[illegible]御門迄[illegible]
　十二月十六日江戸

一 定年[illegible]被仰付候[illegible]御作法之通相済候
備前守[illegible]申上候也　以上

一 同山城守[illegible]十二月十八日[illegible]
掛合[illegible]　御目付[illegible]
御目付　[illegible]御承知[illegible]
宝永[illegible]御構[illegible]
十二月[illegible]御作法[illegible]御承知[illegible]也

一 十二月[illegible]御役所[illegible]早速[illegible]
一 同月[illegible]新[illegible]着[illegible]人[illegible]
[illegible]御[illegible]
一 同[illegible]御[illegible]同[illegible]
[illegible]着[illegible]
一 同月[illegible]御[illegible]
　十二月十八日江戸
一 [illegible]
一 [illegible]御[illegible]
[illegible]
[illegible]着[illegible]
[illegible]
一 [illegible]

付られ候着して其支配之者[illegible]相[illegible]公
[illegible]有之候[illegible]町中[illegible]相[illegible]
御[illegible]之[illegible]
御[illegible]
一 寺月中ニ付[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]之

享保九甲辰歳

一 元日雨天諸国平安[illegible]
一 正月[illegible]
[illegible]
二月十日福知[illegible]
一 町中[illegible]
[illegible]
一 二[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]

一 岸清並岸方之儀並而も又一段以使者
一 此者ハ格別大事之御用ニ付追而遣候事又ハ何事ニ付
右近江守ゟ其段申遣ス由委細ニ於而書付遣
別ニ可申 請取候様可申付候
但右書付ハ近江守ゟ兼而申入置候由申候
同日之 此代
一 昨日ハ葉隠商売之儀者若年寄衆ゟ被仰聞候 昨年
可申付ハ御用之儀ハ御付衆ゟ但書付被申付
ニ而右者申付候由中ニ被仰付候ニ付申上候
被仰付候ニ付京都葉隠之儀御用被仰付候
右ニ付御尋ニ付此段ハ葉隠商売之儀
申上候様被仰付候 葉隠商売之儀
美濃守ゟ申上候様被仰付候 御用ニ付

御備御用之葉代
口上書
一 町中家之并表書付御用之儀ニ付先年ゟ申上候
被仰付候 御付御備書付之儀和泉守
ニ而ゟ書付被仰付候ニ付右之通申上候
ニ而右之儀ハ右近江守ゟ申付候様被仰付候
之者ニハ書付ニ而申上候様
京都御用被仰付候
北条安房守
五味備前守
一 御用御礼
正月十三日御備
一 寺社御用御役之者ニ付右之通申上候
中村近江守殿御用被仰付候 右備前守
明礼先年之通被仰付候様御見候

若之も左様之事ニ候得共此度之御上意ニ付
極々穏便ニ致候而候様ニして[illegible]
ニ候而者[illegible]
之御尤ニ[illegible]
此事ニ[illegible]
中々[illegible]
事ニ而[illegible]
是等[illegible]
下々[illegible]

一 商売[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
但し[illegible]

一 新年御祝儀之次第左之通　以上
元日 近衛殿御礼御家礼鷹司殿御出[illegible]御方
　　 ニ条殿御礼
二日 [illegible]御礼[illegible]
八日 当日御[illegible]
十一日 河内[illegible]　醍醐　[illegible]
十五日 [illegible]
　　 [illegible]
同日 [illegible]
十八日 [illegible]　[illegible]
廿六日 [illegible]
廿九日 [illegible]　以上

右ハ去ル[illegible]

一 大坂表[illegible] [illegible]御[illegible]

[illegible]御[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]候也

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 右同断

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]也 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]候也 右同断

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]候也 右同断

以上

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

殺　御仕置ニ成候盗賊火附人ハ上方人ハ余多くして同様ハ死人
ニ多く男ハ月代剃て髪ハ寸切ニ致し居候女ハ
白歯ニして眉を剃小児ハ前髪ニして膝切ニして足袋ハ黒
ぬりへ袖口之所ハ古き縮緬ニ而是等紺色ニ而ハ
ずれ候是ハ○御仕置申候而捨置候ニ付候而御入用之
火附ニ而御仕置ニ成候盗人ハ余ニ多く火附人ハ高ニ候而

一　三月四日午刻芝車町中程ゟ出火折ふし西風はけしく高輪
町山下町数寄屋町三十間堀町南紺屋町山城町
尾張町竹川町出雲町三十間堀町山下町
京橋町南鍋町通り新肴町弓町
松屋町ニ而三拾間堀町まて焼失致し芝口町
焼出し町々三月四日ゟ火事ニ而焼失致し候ハ焼失之
内ハ町々焼失之者ハ壱万人余ニ而其外之内ハ相知レ不申　御座候

深川辺迄火移り十日余焼候也　八丁堀辺北ハ
京橋筋本町通り神田辺迄焼失致し、八町堀
又ハ江戸橋ゟ大伝馬町辺迄焼失致し候、由中山
本銀町辺焼失ニ付、同所ニ而も町屋焼失致し芝
一　京橋ゟ日本橋辺大火ニ而焼失ニ付、其外焼失
之儀ハ日本橋ニ而焼失御座候　御府内之上方
いつ〳〵ゟも御座候
一　芝口ゟ御浜御殿辺大名屋敷焼失致し西海道
備前町ニ而も焼失町家之内ニ而御座候
道々ニ而焼失致し候町家三拾町余
ニ而候而是ハ焼失之場所焼失ニ付
打続キ焼失致し候ニ付焼失之場所
有之候而其外ハ四町分芝口迄焼失致し候ニ付

風ニて寺社町方之例出来候所下々迄書付四月
八日御奉行所ゟ御書付出し候所ニ而之触
此後相触候ニ付方之続西治町方召抱可依
町続之御書付八月中寺社方御町手代添
御物成之続御沙汰御触之続其年内御手形之
前日渡候町株有之候中御触書御渡候
相成大坂得候御国役相定相手間候
相手渡具候之御用之節ニ御触書相定候
加之候東海道之御定ニ川々八里大橋
御役之儀御渡候之御定候可相成候
之候也

一 享保八年卯五月御書付 尚蔵
百七十七石 志賀大隅

百弐拾石 小笠原数馬
百十八石 伊丹平右衛門
百七石 石井藤兵衛
百三十石 深見新蔵
七十石 北條源兵衛
七十五石 竹田五郎
七十二石 本條長右衛門
右之趣御沙汰之由承候之

一 享保九年辰年正月諸国御改惣人数之覚
御大名方御旗本共惣高千九百万石余之内御料之分四千七人
五万石余十万石之 四千人
壱万石余五万石之 百五十人
都合四百万石余八百五十万四千二百三十七石余之

一 享保八卯十二月廿六日 快晴
内侍所 臨時御神楽 勤役
出御
御裾 園田国季公 二条
御劔 光宣朝臣 一 少納言丹波利方
御筥 中山門宣誠朝臣 丹波尚長
御笏 小河清水俊以朝臣 北面大江俊在
御草鞋 宣誠朝臣 蔵人 源庸伴
奉行 孝行 俊将
御神楽
笛 景淳 篳篥 秀任 和琴 定長 庭
本拍子 綾小路中納言 末拍子 藤原基香朝臣
附歌二郎 園中納言 石野中納言 一乗院宮
六角三位 持明院前中納言 綾小路中納言

附歌殿上人 橘胤淳朝臣 石井家凱朝臣
地下召人
忠秀朝臣 忠武朝臣 忠以朝臣 忠音朝臣 忠政 宣範
忠宣 多忠達 多忠雄 多忠敦 多忠長 多忠貴
太神景貫
人長 多忠彦
脂燭殿上人 致長朝臣 兼雅朝臣 和忠朝臣
範昌 通積 賞雅 丹波頼方
御服 季伊朝臣 山科三位 奉行 坊城俊将
一 享保九辰正月 四方拝 門三節會次第
四方拝 晴天 出御 清涼殿東庭
依庭上雨儀 長橋廊下二間 取之 以大宋屏風 蓋
庭上 武官 小舎人龍

御劔　隆英　御裾　隆将　御沓　隆将丹波尚寿
御笏　修理右権佐　御草鞋　定誠　極﨟利方
脂燭殿上人　頼長　範篤　種房　隆庸　源房仲
奉行　頭弁俊将
御服　平中納言　山科三位
一節会之節御出之時関白綱平公内弁之外御草坐公卿公
後陣ハ前内大臣兼香公此時ニ不参
一内弁徳大寺公通卿御名代ニ子
元日節会　右大臣　大大臣　内大臣　花山院大納言公
鷹司大納言公　花山院大納言公　中院宰相　園中納言公
三条中納言公　飛鳥井宰相　言紀宰相　表紅宰相
加山前少将　持明院中納言　勘解由小路　兼光殿下
次将　有能殿下　隆豊殿下　利益殿下　雅季殿下

一
順具殿下　実亨
次将　隆業朝臣　定淳朝臣　実長朝臣
脂燭殿上人　言貴朝臣　宗業朝臣　実秀朝臣
時康　康行　家胤　大江倫任
御後　鷲尾前大納言公　山科三位
白馬節会　御前ニ敷
御裾　関白綱平公　奉行　頭中将実成
御草鞋御靴　秋涌朝臣　丹波頼方
御後脂燭　定誠朝臣　丹波頼方
御劔役将　実全朝臣　修理亮
今婦役将　源房仲　大江俊任
おウゲン奏ス役　入御
免除状字　白馬節会　上卿　右大臣　内大臣　西園寺大納言公

中納言 源大納言 新大納言 右大将 源中納言

源宰相中将 源宰相中将 日野大弁宰相

勧修寺左大弁宰相 [illegible]宰相中将 [illegible]中将

少納言 範篤朝臣 雅時

次将左 [illegible]朝臣 [illegible]朝臣 [illegible]朝臣 [illegible]朝臣

宗[illegible]朝臣 [illegible]朝臣 栄[illegible]朝臣 輝季 [illegible]康

次将右 実[illegible]朝臣 重[illegible]朝臣 通[illegible]朝臣 重直

[illegible]随身[illegible]人 御[illegible]朝臣 [illegible]朝臣 [illegible]朝臣

[illegible] 盛仲 丹後[illegible]

一

御服 [illegible]宰相中将 [illegible]宰相

踏[illegible] [illegible]御[illegible] [illegible] 孝[illegible] 修[illegible]

御[illegible] 関白 [illegible] [illegible]宣[illegible] [illegible]

御草鞋 頼胤 [illegible]

御靴 房仲 [illegible] 俊直 [illegible]

後御裾 房仲

式箱 頼胤朝臣 宣誠 俊直

[illegible] 上卿 内大臣 右大将

新大納言 [illegible]大納言 [illegible]中納言 [illegible]

左大弁宰相 右大弁宰相 [illegible]宰相 [illegible]宰相

奉行[illegible]卿

少納言 宣季朝臣 弁 宣誠

次将左 [illegible]季朝臣 実[illegible]朝臣 公[illegible]朝臣 宣[illegible]朝臣

基[illegible]朝臣 基康朝臣 実[illegible]朝臣 実[illegible]朝臣

次将右 宣[illegible]朝臣 重[illegible]朝臣 [illegible]朝臣

[illegible]随身[illegible]人 雅季朝臣 [illegible]朝臣 [illegible]朝臣

範昌 [illegible]頼 貴雅 丹後[illegible]

一御服　平服也　山科ニ依

一東使　昌山寺前寧来内清涼殿両人同之

出御　奏者　龍蔵　玉宝坊蔵　偏照寺宗順

一正月十三日　諸礼　院家　諸寺

杉原十帖末広壱本宛　金剛王院帯一　上乗院帯し

当院金剛院帯一壱本

報恩院一　覚王院一　五月　自性院帯壱本

菩提院清帯下　観音院法服壱枚　往生院壱本　壱枚

宝光院壱本　理光院法服壱枚　龍光院一

慈雲院一　永福寺　大原寺　明王寺　永源寺

大聖寺　地蔵寺　東漸寺　遣迎寺　光明寺　観音寺

清涼寺　松林院　成就院清涼殿　以礼

花谷前　三宝院拝礼之

又八幡坊　石清水法印　田中法印　新善法寺法印

閼伽寺　大御所ゟ元礼　出仕之故学師

杉原十帖　鐵槌上成帯

以外(?)王箱丹　広橋法印(?)　子细

上帝下丹　石河法印　仲安

久々利(?)也　上首法印　雅安

近衛丹　山脇法眼　道之

今法印(?)家　御園一　玄琢

鎮帯下丹　林一　杏安

解毒丹(?)　木下一　永頼

犀角丸(?)　竹村(?)一　良安

神仙丸(?)　向井一　元椿

延齢丹(?)　柳川　請全

龍脳丸　豊後一柳吉
延寿丹　石川一■安
九蓮丸　村上■■等徳
白龍丸　久米一元察
延齢丹　■■一■安
今■丸　山科一宗安
萬金■　加藤一■安
右之
一 二月十七日外出三位■■■■■■■■■■■■■元順
一 同十七日　京極■■■■■■■■■■■■■
一 同廿六日　河蘭陀人参■
カピタン　ヨワンステイテンス　四十七歳
外科　ウエロムケイテウアル　四十歳
筆者　カルナアトスヘトカアトスヘワセル　廿■歳
大通詞今村市兵衛
二月十四日　呈上
一 [illegible]
[illegible]
宗■
[illegible]

一 大経国霊舞ハ振宮ニ社殿をも有之て参詣致候ニ付

於御所々三祭礼祭致候ニ付宗門之御

行霊舞陣法相勤候ニ付社ハ振方太鼓を勤候

江戸御用之もの之候ニて八箇家之者[illegible]

一 候て御蔵等取祝詞等ニて宮社之所へ罷出

以勤候事[illegible]懸様之事

一 二月十八日晦日ニ三日迄之内ニ而被免候ニ付

千[illegible]之者共所ニ而当分[illegible]差障之儀[illegible]

追放之者共所々[illegible]言上仕候[illegible]

一 二月十日 傳奏衆ヘ[illegible]ニ而[illegible]

二月十六日

一 [illegible]より[illegible]之儀

候へ[illegible]

[illegible]

辰二月

一 二月十六日晴、瀬戸ニて出火、当座御焼失御蔵御荷物
余程焼死人有之、右出火御役所御見分、出火ニ付焼失
佛餉料并人足佛餉料百両被下候、死骸引取候者共へ死
骸一人ニ付金壱両ツヽ被下、夫々取片付候様被仰
渡候、右ニ付早速夫々役人差出候
一 遠山左衛門尉殿十五日御見分として御出、御蔵門迄御出役人
御蔵門ニて御出迎 浅井源右衛門 三上条右衛門 御蔵役人
御目附 松平 三郎右衛門 手付立合
代官 今西伊兵衛
五島兵右衛門
御蔵奉行 松平伊賀守
二月廿六日 伊賀守殿御下知之上、御城御出、右入国
二月廿七日 外門 御出 …

安山書程 第一 ノク

一　二月十三日猪狩ニ付而　出荒和被成候ニ付荒和御前御用向
象或落死人并在人ヘ内ニ付荒和御前ニ而紅葉山御霊屋御殿
佛師并人ヘ佛師帯刀之名田難有ニ付而候ニ付
難有人ヘ御用之象之通り候　出家衆何方ニ而被成候
随分之通候而之東ハ役ニ而出家衆ニ而
一　紅山御成之節十組頭之内より御用御成御番所ニ役人
御小人目付　御徒目付　御歩行衆三人御用役
御目付　御徒目付　御小人目付
代官　　今日御用之候
五月十五日　御徒目付
御小人目付　御徒目付
二月十三日御徒頭之内より御成御出之節方入国
御徒頭十四日之休　御目　目付　御手前之役人之休候衆
目付御成之節御差出　見附候衆之御鷹分方　之迄ニ
十三日休　其外　目付　御目付　御門番衆
御徒目付之御供方　二三日ニ御用之節ニ候而　御出之
騎馬之者騎馬之者之御用之者之節　御手前之
御小人目付方人衆方ニ之御見之御手前之候
目付目付之御ニ候ハ見之役之御番之衆役人ニ而
之候之ニ候見之御用之人ニ而候手人衆方御目付之御役
見付御用之御役之ニ而二千人衆御人之衆御用方御役
騎馬之者御成衆之御手前ニ而之者のにより之候御出之人衆御徒
御手前之付之候ハ御御目之時之之より之ニ方之御
より方之御用之郡山之御用ハ御小人目付　御番人
之衆之御成衆之節ニ被成候之者之　御役之役人衆
御目付之ニ而之方之用人ニ而ハ御成御門番之御役人

一

此日之儀[illegible]

[illegible]

[illegible] 京勝仙院

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一

[illegible]

[illegible]

[illegible] 十八日 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible] 大和 [illegible]

一

[illegible]

二月 [illegible]

[illegible]

[illegible]

廣川之城ニ籠ル 御座所ハ紀伊守殿 京兆一同ニ大舘
伊勢守ニ申シ 大内ニ訊ヲ以テ二度ニ及ビ入城 仁五十日ヨリ合戦ノ大
赤松ハ紀伊守殿ニ一手ニ成リ 十日ノ体 京勢仙洞 勝ハ河中ヘ打出テ凱陣
伊勢入道殿ハ出家ノ上 公方ニ事ヲ申シ 御内書ヲ以テ御所ヘ
之ニ依テ 勝仙院ヲ以テ御使トシテ 仰付ラレ 三百人
宗全入道 御所ヘ参 御座所ニ於テ 御対面アリ 桜井
赤松 亀山 伊賀 細川 同馬之丞 細川 三万騎
紀伊守 豊後 二万騎 武田 少々 武田 少将
大内勢一 十文字一 伊賀土 二千余人 破 勝元 一騎
宇都 二千人程 山名 七八人程 打出 浦上 安富
兵部少輔 三番 雪 而 公方 二月 堂 中 十二日
細川 并 千 本 一 御所 出 雪 吉 一 月 一 候
一
細川 赤松 一 左 所 大将 一 次 一 都 二 所 一 中 之
京 勢 之 内 上 者 吉 門 一 軍 下 中 免
返 山 一 以 雪 勝 以 安 戸 田 福 院 大 所 一 定 大 内 居
十 六 頭 兼 是 二 百 騎 讃 岐 二 万 騎 細 川 千 余 騎 出 合
二 手 に 別 て 出 陣 し 候 御 下 知 細 川 勝 元 打 立 て
そ れ に 伊 勢 守 が 内 の 一 千 余 騎 雪 之 助 細 川 並 一 門
打 入 て 所 三 雲 下 の 屋 形 一 所 一 赤 松 者 武 田
朝 倉 之 衆 者 大 内 殿 細 川 へ 引 返 し 三 千 余 騎
山 名 一 打 入 申 候 者 一 所 一 大 勢 之 陣
へ 入 乱 れ 合 戦 之 時 二 山 名 方 雪 打 出 勝 元 へ
一
二 月 十 日 京 勢 打 出 所 一 陣 所 一 都 へ 合 戦 兼 行
細 川 同 一 将 軍 家 一 所 一 御 所 所 御 所 中 山 名 殿
藤 本 之 馬 者 共 一 所 一 所 一 河 島 屋 形 見 者 一 所 一 本 陣 之 手
右 京 大 夫 殿 細 川 讃 岐 守 殿 之 御 勢 共 一 所 一 二 月 二 日 二 月 一

去ル寅年御尋ニ付御届申上候、猶又此上取調可申上候 [illegible]

一 同十三日 [illegible] 伺之通 [illegible]

一 二月廿二日 江戸 [illegible]

[illegible] 御聞届 [illegible]

一 同廿五日 [illegible] 御聞届 [illegible]

一 同日 [illegible] 寺 [illegible]

物開帳 四月廿日ゟ 元禄九年 [illegible] 二月 [illegible]

一 東叡山 [illegible] 開帳 [illegible] 四月十八日 開帳

一 二月廿五日 [illegible] 開帳 [illegible]

[illegible] 開帳 [illegible]

二月廿九日届

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

二月廿二日届

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

二月廿二日届

一 [illegible]

[illegible]

一 呉服 糸屋 仕舞 酒部 諸色 紙 道具 其外商売
作職物 薬物屋 炭 材木 薬種 絹綿
太物之同屋仲間ニ而定候之者ハ、以下其外同屋之分
之分ハ先々之諸物入用同屋無之 取商売之者共
書付取ル 右之者共相改候商売之者共可相渡申
名前申出候ハゝ可相渡也 以上

一 右日々分 東山之外無之候 江州積出 東京之本方之者共
宜御手当用捨可有之事 同様

一 右月六日分 出入之東西詰寺一般請負之者 ○之請候分共
一 同八日分 惣代 江戸表之方ニ而 同様者共之請取

一 江戸御屋敷方へ上納之儀ハ 右之分 請之可申立
商売請取中 付之 頼之可申上ル 可有之 同様 出候
之同断 之候之可被相渡 以上

一 御入用宜師 右日々 大坂之外御用向之 請取
退散 宜敷 御用 之東西之 請取 小 請取之
可申候也

一 右月十六日分 江戸出張所 御用之節相渡 之事
以上

一 諸家之 御手当之 御所ニ而 請取之 江戸表之
諸仲間 当年之 東町中 三ツ相 請取之 ○当
町役 年番人 並 諸向之 請取 之入 相改
之候 請負人 之分 共之 之 二月 出来 之上 諸
出来 之分 金銭 之 諸 之 之 御 之
之之 大坂 之 之 之 御 之之 之 諸人 之
早之 年 之 之 出 之 相 之 之 之 之
諸日 之 之 ○ 之之 之 之 御 之 以上

法中法事ニて相知レ候也
辰六月十二日 記之
一 六月十六日分 法成座元[illegible]閑林寺院并閑林
一 月十一日分 七条宗徳寺二月退院法成大善
六月廿八日 [illegible] 河代
一 出家法ニ書付を以て大坂町奉行[illegible] 御所[illegible]
六ケ月之上
一 六月十八日 公方様大坂[illegible]様[illegible]
村[illegible]御[illegible]所[illegible]
一 同十日 [illegible]
六月廿五日 願
一 風呂屋[illegible]
[illegible]

同十五日 願
一 同十七日 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 御城[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 六月十七日 [illegible] 御[illegible]
[illegible] 田村[illegible]
[illegible] 河代
[illegible]

法中法事ニて相勤候也
辰六月十二日　能登

一　六月十六日今日　浄識寺慶元寺開帳并慶元寺開帳
一　日十八日より大楽寺宗德寺二百五十回忌法事相勤申候
六月十九日　河内

一　当寺住持書付寺社奉行所ニ差出ス　御老中
六日了承ニ上ル
一　六月十八日　公方様大般若寺　被仰付　法事被仰付
相済候ニ付　所司代　被仰付　御寺社　奉行所
一　同廿日立山寺　寺社奉行所被仰付
六月廿五日　備

一　風雨當寺　中村　見分　御参詣　候　仰　事
所法中　法事　候　て　候

同廿五日　備

一　明廿七日　御法事ニ付　御寺社奉行　御勝
　て相済　事　候　通　候
一　御城　御付　候　御　御　之
　被　候　て　候
一　当地　御　御　之　御
　の　候　て
　御　候　　河内

一　六月廿七日　　四村
　御　　相
大坂　　寺社
　　　　　東
　　　　　　海人

祝　多七　但　出仕申候　以書付　八幡　御意候
松平阿波　宮内大輔　恵明　和田信濃　加藤　[illegible]
黒田　[illegible]　[illegible]　以上

一　三月十七日大広間ニ而　出御　安藤右京進　江戸大目付役之
松平右京大夫卜申候

一　三月十八日被　仰付　江戸寺社御奉行　細川[illegible]
被　仰付以後　松平隠岐守　[illegible]　大広間[illegible]
少殿ヘ逢[illegible]　出羽守　[illegible]　御[illegible]
寺社御奉行代　[illegible]　[illegible]　足軽
足軽　小頭壱人　鉄炮十挺　手替足軽拾人　持筒　[illegible]
玉薬箱　壱荷　壱人　足軽　目付壱人　右　[illegible]　足軽　[illegible]
持弓　[illegible]　壱人　[illegible]　壱人　足軽　目付壱人
長柄　拾筋　[illegible]　足軽　拾壱人　三拾　[illegible]
挟箱　壱荷　壱人　[illegible]　壱人　[illegible]

一　徒士目付壱人　騎馬三騎　[illegible]　会津二[illegible]
手徒士四人
其外[illegible]　以上
一　江戸芝[illegible]　[illegible]
[illegible]　御[illegible]

一　三月廿二日　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

別當寺社ゟ御用ニ出け申し大ニ急候故ニ構ニ申
ニ付ゟ四ツ時過ニ上野迄御出被遊候處ニ御
人留被成候ニ付寺社奉行衆大久保加賀守殿ニ而燒失
大かた申上候故七ツ時過ニ出仕申し
大手口より入申し候御目付衆大目付石谷殿
申上候ゟ御目付衆ニ申付候て御老中方御
かけつけ被成候 [illegible]
大手口ニ而[illegible]
御城[illegible]
大手中ニ[illegible]
此ニ而[illegible]
[illegible]
[illegible]

一

町數四百八拾町 家數壹万二百五拾軒 燒失 千九
七ケ所 御蔵千五百六ケ所 寺數弐百七ケ寺
一向宗百五ケ寺 西御堂末寺 社數八ケ所
大名屋敷 三十二ケ所 上總信 八ケ所 町橋四十
四ケ所 深川屋千五百四十四ケ所 蔵數 六万四千百
五十ケ所 死人數 弐万弐千三人 内男百四十七人
百五十人 大名衆燒死男女弐千六百余 女
中小姓衆 壹万千七百四十 八 大名衆 壹万二千
四万五千七百余人 [illegible] 燒失之寺社
千人余 [illegible] 御老中 [illegible] 離散之町人
酒井讃岐守殿 [illegible] 御城 [illegible] 御殿
井伊掃部頭 [illegible] 書 [illegible]

一 三月　松平甲斐守殿　於羽山御目見　被仰付

一説ニ松平美濃守
一説ニ美濃守殿

吉保公御領分拾弐万石余之内、八万千二百八拾石之甲府ニ御加増
御書院ニ而被仰出之（一説ニ美濃守ハ御預之御沙汰ニ而）

一 四月 吉里殿 三家衆並ニ而 御目見 白書院ニ而
年頭 御礼 御目見 被仰付 御間ニ而

一 三月十八日 御本丸ニ而 御能 被仰付
御側衆 御老中 並 被仰付 候

一 四月十七日
町々ニ而 御用 御触 書付 写 出申候 御当人
ヘ 御沙汰 候 御取締 可被仰付 候
歎ヶ敷 事ニ候 得共 此上 御沙汰
町之 御触 出 候 上ハ 堅 相守可申候
八 組 御目付 衆ヘ 申達 候 御勘定 所ニ而
上 書付 差上 候 御沙汰 之 通 申付 候

一 家督 被仰付
町之 御門 前 御取 次 衆 申 上 候 而 御沙汰
勘定 所 御役 人 之 内 御 書 付 出 候 而 町々 ニ 而
申 付 候 御 触 書 を 以 申 渡 候
組 頭 衆 中 ヘ も 申 達 候 而 御 沙 汰 之 上
御 沙 汰 之 趣 相 心 得 可 申 旨 申 付 候
名 主 共 へ も 申 付 候 御 勘 定 所 へ 罷 出 候
御 沙 汰 之 趣 申 渡 候 得 共 何 分
も 相 済 不 申 候 間 申 付 候

一 五月三日 松平甲斐守殿 御目見 被仰付
御本丸 御書院 ニ而 御能 被仰付 松平伊勢守
殿 吉里殿 御一同ニ 御目見 被仰出
之 御沙汰 之 通 相済 申候 由

一 紅葉山御法事ニ付而御目附衆
内藤織部　岡田伊右衛門
同 書院番 伊織　牟礼郷右衛門
御勘定頭　石原惣兵衛
平勘定　大塚七助
同　安藤六兵衛
内藤平八　清水権之助
同 使番衆　松平宇右衛門
同 目付　浅井源太夫

一 二月十六日紅葉山御宮之門ニ而法事之役割
先拂 梅原源五兵衛 茶坊主 法花 茶坊主 一人 御目付 長谷川勘兵衛 茶坊主 大龍 小坊主
先拂 梅原源兵衛 茶坊主 法花 門 公家衆 御目付 拝見 門

梓 法之前 護摩 吹出之梅 雲英貝道具 門 御目付衆へ 請取 伊勢屋之
門 門 　法梓
若年寄 法 茶坊主 出家衆 御香爐 水法 法花 華 馬方 貝 道具
門 法花 梓 茶坊主 公家衆 法花 請取 法花
馬 門 拝山法事 門 足袋 法 茶坊主 当番
出家衆 法花 拝見 足袋 門
小法 門 門 拝見 法花 法梓 手水 門 門 小坊主
玉葉箱 足袋 具足 長持 梓 雲英 馬方 小坊主
法花 梓 手水 門 小坊主 門 玉葉 箱 貝 足袋 法 馬方 御法事 前川茂兵衛
門 梓 門
安房守殿人 法 茶坊主 当番 会所 御法事 足袋 具足 役人
若年寄 人 役人

二揚 雨夜 馬下 小歌 [illegible]

[illegible] 小歌 [illegible] 二揚 雨夜 馬下

小歌 [illegible]

[illegible] 二揚 [illegible]

小歌 [illegible] 二揚 雨夜 [illegible]

[illegible]

[illegible]

廿六三十丁程ゟ　馬下　足軽之二十挺毎足軽　騎馬ニ而押之　長柄奉行騎馬ニ而家来　鉄炮　同　小頭　黒毛　長柄奉行

小頭　長柄指足軽之二十挺毎足軽　騎馬ニ而押之　組頭騎馬　足軽之

若党　長柄奉行　徒士　小頭　足軽七拾人ニ而押之　家来ニ而　同　上下　長柄奉行

草履取　弓奉行騎馬ニ而家来之者

同　同　鉄炮足軽八　持之御鑓　同　大紋乗物　同

同　挟箱　足軽之　長柄鑓　曲彔　八木　同

同　持筒鉄炮　足軽之　鉄炮　同

大筒二挺　小頭　徒士押　同

同　同　松山茶弁当　御草履取　持筒　同

持筒　持筒　持筒　小頭　挟箱

長柄之二挺

貝役人

雨具　貝　太鼓　台笠　太鼓役人　押足軽八　雨具　御茶弁当

若党　馬印　足軽之　駕籠之者　同　小頭　持筒鉄炮

鉄炮十丁　小頭　鉄炮十丁　鉄炮足軽之

持筒鉄炮十挺　同　同　鉄炮足軽之　一挺

馬印　小頭　弓十張　鞍置馬　足軽之　弓足軽押　同

持弓　弓足軽之二十挺　弓奉行　小頭　長柄　挟箱　小頭

長柄八　足軽之二十挺毎足軽　騎馬ニ而押之　同　日付　御家老

足軽之　長柄足軽之　同　足軽押

小頭　長刀　鞍置　長刀　同　馬　同　同　投鞘　黒毛　長刀

大鳥毛　黒毛　徒士　家来　同　黒毛　甲立　鳥毛　同　同

大鳥毛　黒毛　朱柄鑓　甲立　黒毛　同　同

寺庭 同御供同 異見之 宇佐 同安芸 軍道の安芸 康久卿
藤井異見之 御中 中将 檜前[illegible] 大十文字[illegible]
山口[illegible] 中将 同[illegible] 異見[illegible] 山田加賀
安芸[illegible] 同同[illegible]
金輪[illegible] 養[illegible] 同 [illegible] 同 中将 同 之人
[illegible] 同 同
家老[illegible]馬 [illegible] 同同 之人 信馬 十文字 同[illegible] 同
押 [illegible] 異見[illegible] 同 [illegible] 中[illegible]
押 同 同 [illegible]

[illegible]

堅 奉行新入注進付 若党奉行 足軽二百人 ふうけ 小荷駄 奉行

小関 原伝 中程奉行 奥平伝兵衛 安藤 御先奉行 足軽 坂部

坂部 奉行 津田 中根 川勝 奉行 入日 二百人

坂部 八 信夜 安藤 奉行 杉浦 伝兵衛 奉行 二百人 長持

杉田 忠 又 杉月 奉行 法 奉行 法橋 師 菅原 門 奥

足軽 雨 夫 二百人 奉行 無小奉行 奥平 大目 奉行 信也 足

奥 足 安藤 注 法橋 注 奉行 奥平 奉行 二百人

弐百人 法 注 注 門

一

門 足 信也 門 上 出 奉行 注 奉行 奉行 注 掃

奉行 門 日付 奉行 奉行 注 奉行 門 上

奉行 奉行 引 乃 奉行 列

奉行 桃行 奉行 桃行 一門 注 御 奉行 桃行 奉行

大小 奉行 注 奉行 引 列

門 上

四月 廿六日

奉行 注 伝 兵 奉行 奉行

一 大 奉行 奉行 二 奉行 中 奉行 奉行

一 寸 法 大 奉行 奉行 奉行

一 池 奉行 法 奉行 奉行 奉行 法

寺 法 奉行 奉行 奉行 法 奉行

一 [illegible]

四月九日

一 書院へ[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]安井山[illegible]

一 [illegible]

四月廿六日

一 [illegible]京[illegible]

此上ニ有之候ハヽ御仕置ニ申付候其父母之節支度出方之儀ハ附之ニ
附之上ニ而相極候ハヽ右ニ而申上候決而無之様ニ被仰付而相渡
候ニ付御仕置之儀ハ存寄之者共へ申付而是迄申付而火
用人申付候上ハ宜敷共ニ此由を見届申付候旨
是迄抔不申付節ハ此節○御書面之趣ハ御沙汰之れ
此上ニて申付候ハヽ右之趣ニ被仰下候へとも右掛り有之候ハヽ
其外ニ有之申付候ハヽ宜敷ニ而相済候様ニ申付候
申もの其外ニ御沙汰之節ハ右の通ニ而仕候
自分ニ申付候上ハ宜敷様ニ而も右之段申付○御書付之
伺之通被仰付而右之段申上候ニ而其外之者共ニ相候而も
以上

一 同日五ツ時
風俗之儀ハ前々之通ニ而何事ニ寄らず厳敷申付候様可被仰付候

左し○御書付之段ハ御沙汰之段申上候
沢山之儀ニ付沙汰之趣申上候処風俗之儀ニ付遠慮
風俗ニ而申付候処之儀

一 風俗之儀ハ何ニ不寄御沙汰之上ハ家業之儀ニ付
相成候儀ハ厳敷申付候ニ付何事ニ寄らず右之段申上候
此段申上置候

一 手代共ハ又ハ役人共ニ而も此儀ニ付申付候ニ付
入用之儀ハ書付ヲ以申上候様可被仰付候
其外ニ而も先例之通相心得可申候 以上

一 同日五ツ時右之通被仰付候ニ付而ハ右之段申上候
役人共へ申遣候様ニ付右之通申付候

一 ○御沙汰之趣ハ右之通相心得候様申付候
右之段申上候○御書付之通相心得可申候

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]焼失[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]焼失

一 同所[illegible]焼失[illegible]

一 同所[illegible]

一 二条御城[illegible]

一 [illegible]焼失[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

四月廿六日　晴

一　御役人衆は青竹入候[illegible]三条様[illegible]速ニ[illegible]
[illegible]青竹[illegible]御作事[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

四月廿七日　晴

一　二条御城中[illegible]四月中[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

四月廿八日　晴

一　[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　四月廿六日[illegible]
[illegible]

一　[illegible]
[illegible]

一 因茲以夜四ツ時小倉山出家ニ而智人萬備宮[illegible]焼
允出候ニ付焼失
一 右之趣早速因州ゟ近郷御預地ニ付[illegible]
関所[illegible]並ニ[illegible]所[illegible]
所々[illegible]御預地[illegible]
一 御条河[illegible]中[illegible]
船便小倉[illegible]
右之通[illegible]也

因州ゟ[illegible]

一 今般[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]也
[illegible]

一 [illegible]御[illegible]
御[illegible]
[illegible] 八月
志[illegible] [illegible] 十月

知章　宝生大夫　九分　仕分　安し
楊貴妃　宝生大夫　彦兵衛　松若　元し
鞍馬　十大夫　節分　花若　又右衛門
祝言　御遊　利木　仕分　長保
かし

庭上舞　仕分
翁三番　作分

勅使　御退出　其後　大樹公御座　御座敷　御退出　仕分
於公勅使御退出中納言三汁七菜　御座　仕分
御下御膳并ハ三汁七菜　御大名衆へ御料理被下
同御膳并上下ノハ大夫ノ其外ハ大名衆　弓衆
被仰出　御能相済　御馳走　八月日
其ノ所へ見物衆ハ　狂言師共ハ所へ　御座候

狂言師共者ヘ　於申付御能八地謡并ニ大夫共者
申付ル　一々三人つゝ下　勅使衆へ三汁
者ハ御土器ニテ御酒被下　御料理被下
一　翌日ハ御能ニ付能之儀仕舞
被仰出　御能之者三人　中條猪山
座頭ハ久保田少大夫　中條猪山
太鼓　大倉六蔵　中條猪山
一　家従宮大夫　中條猪山
　大夫

仕舞
高砂　観世　宮増　観世十大夫
八嶋　観世　宝生　宝生十大夫
杜若　観世　金春　金剛十大夫

松風　宝生　千寿　観世　三輪　七大夫
[illegible]　観世　[illegible]　宝生　花月　丹後
[illegible]
[illegible]　観世　[illegible]
仕舞
高砂　宝生　[illegible]　七大夫
[illegible]　七大夫　[illegible]　宝生　[illegible]　丹後
[illegible]　観世　[illegible]　観世　八島　宝生
[illegible]　七大夫　[illegible]　丹後　[illegible]　七大夫
[illegible]　観世　[illegible]　宝生　[illegible]　十郎

一　四月朔日　西丸ニて御能組
嵐山　金剛大夫　九分　[illegible]
田村　丹後　[illegible]　[illegible]

一　三月十二日　於西丸御能組
嵐山　観世　[illegible]
忠則　十　[illegible]

[illegible]　七大夫　[illegible]
[illegible]　観世　[illegible]
[illegible]　宝生　[illegible]
[illegible]　同　[illegible]
[illegible]　七大夫　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　仕分　[illegible]
[illegible]　[illegible]　仕分
嵐山　[illegible]　八分

一弐分　宝　壱貫文　拾弐分　壱匁
国拾十　弐分　拾弐分　弐拾
薄　御ノ金利　定　拾弐分　拾弐分　壱匁
留主殿十　弐分　拾弐分　壱匁八
一　山尻紋　壱貫文　拾分　壱匁
一　土地　定　弐分　拾弐分　文書
八幡　壱貫文　壱匁　拾分
大坂人　拾分　定米　拾分
定銀　拾分　拾分　八分
御代　拾分　壱貫文　壱匁
荒山　八分　右之通

国四月六日
一村西方　日備方　一小堀西方
磯太方　漆村方
太兵衛衆　御蔵中之所付候而可成候之間被置之由
定之衆中之分　来月中之二日迄可相済候　右之衆
中井之衆申宛行候覚　請人可有之旨相違無之候
御座候　右之趣被仰渡候　以上
一国四月六日付之通御請可仕候　以上
日光様　御在所　中村　松平

一国役之分附之儀之通　寅年十月八日所定
一国役之分附之儀出来候　地方之所定

一 同日本所亀沢町より出火、本所五ツ目山伏壱人焼死
外ニ手掛り無之
一 同八日浅草田町村百姓人元宅 寛政四年ニ所焼失
一 同九日西之丸下ニ而刺殺候者壱人、同溺死壱人
主知れ不申候
一 同十八日浅草旅籠町三番組番屋より出火、町家焼失
一 同十六日浅草御成道町辺ニ而人殺有之、捕候
閏四月廿九日御仕置
卯ノ年
当五十五歳 元家主 丹波 勘兵衛
伊之吉 溺死 伊兵衛
右之者御蔵前通り町家焼失ニ付、其後所々ニ而人殺致し候
此之者共 所々附火致候者共ニ付、獄門
取押ニ付 去年牢ニ入 吟味中御仕置申付候
其外所々ニ而死人多く有之候由
候也
一 五月十三日羽州山形より出火、本丸并町家焼失
家数 三千軒程焼失
寺院 百八拾ケ所焼失
土蔵 千七百程焼失
御家中 二千人 焼死
一 閏四月十二日夜備中国町方出火、家数三百軒余焼失
閏四月廿九日御仕置
一 無宿女 ふさ事壱人、右之者 親共ニ而
此者 寺内ニ而 火附致候ニ付
引廻之上 火罪ニ申付候

人に頼まれ候て文[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 右京[illegible]

江州津田村[illegible]甚次郎[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]京[illegible]

[illegible]京[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]京[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右之[illegible]江州津田村百姓

甚次郎

一 [illegible]

[illegible]

一 右之者[illegible]河原[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
同村 ヤザノ [illegible]
同村 [illegible]
同村 エンナレ [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]門助[illegible]
同村 [illegible]

一 御仕置人
京都[illegible]町 [illegible]
門助
一 門助妻 いち
いち妹 二人
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible] 同日十八日[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

同四月十四日晴　御代

一 紫宸殿書付ゟ以承候ニ付御前ニ而右御下知被仰出候
ニ付候

一 同四月十八日今日於大広間ニ七ツ時ゟ御能有之
并御料理被下候　御老中方御相伴被仰付候

一 同日七ツ時ゟ御茶屋ニ而御膳出ル　御家中へ御酒被下之
其外御用人衆ニ而御料理被下候而三ツ時ゟ二三丁
並十一ヶ所迄御機嫌被成

同四月十二日晴

一 茶屋御番　御目付

右六人衆御茶屋ニ罷出御番相勤候、右之段御目付衆ゟ
御用人衆迄申上候、右之外御目付衆御下知ニ而
如何様之義有之候ハヽ可申上旨被仰付候、日々御番ニ被
仰付候間、右之段可相心得候也

同十四日晴

一 御茶屋御殿御用ニ付御座敷御掃除被仰付候ニ付
其外御目付衆へ御断申上候也

一 去ル四日ゟ十七日迄山王祭礼ニ付御警固被仰付候
御番衆へ申付候　八人御供申候

同十八日晴

一 御用　土屋　并　役人　御目付　頭衆

右之

右六人衆御用御勤被成候ニ付御番衆御用人衆へ申上
御用人衆御目付方へ相達、右之段御用人衆へ申渡
御老中板倉周防守殿へ御目付衆ゟ申上、板倉周防守殿御承知
守殿御用御下知之旨被仰付候也　御書

一 右之御廻状御目付衆ゟ御用人衆へ相渡候事

一 国ニ而仕置刑罪者之儀ハ、其国之御門主ハ新居
内ニ而 大坂町奉行所ニ而御仕置之事
此儀八月六日御仕置ニ而被仰付候ニ付、此段申遣候
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
打捨ニ致候様ニ而 御門主ハ溢儀ハ[illegible]

之事ハ掛り候類ハ兼而申付置候 以上
六月二日相
一 大坂町奉行所[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]六年二月[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
其外何ニ而も可申候

一 享保九年辰三月廿六日夜　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 今度[illegible]

一 今度[illegible]

一 [illegible]

一 今度[illegible]

一 右地ハ猶以片ミ付候而後之ニ茂可被仰付候ニ付
筆者人ニも是ニ而相済申事ニ候
辰ハ御遣之分前々之通可被下候由被仰付
立候ニ付是迄之通別段被仰聞候事ニ候

以上

辰六月

半兵衛

御名

一 對馬様より
右ハ付出候分御遣之内ニ相成候ニ付候様子相尋
也候此度御國ニ而も御座候ニ付尋之通御様子申候
也候分段別ニ付
右ハ付出御遣之分茂右之通可被成候様子相尋

分と候も右之義ニ付右而御尋之通御座候
御様子候而御聞候ニ付候由被仰付
一 同様右之御様子ニ付候由被仰付
右ハ付出御遣之分茂御座候ニ付候様子相尋候
半兵衛右ニ有之候御尋之通可被仰付候
右御遣之分茂右之通候由相尋候
御様子茂右之通候由被仰付
辰御座候分も右之通相尋候由被仰付
一 右之通右之相尋候
右ハ同之分候由御座候御尋之通御様子候
同ハ右之通御座候御様子被仰付候
相済候由被仰付候
御様子右之通候由被仰付

一 振り之節一ヶ年ニ御定之通り可仕旨相済申候
太夫共之通り以前ゟ御祭礼申付候ニ付御幣等ニ相勤申候
御祭礼ニ付先例之通り御祭礼申付中付相済申候
一 神供社祭礼相済申候
一 太夫神楽并御祓等先納御初尾之儀中付候
右之祭礼申付候
一 其御祓師并神楽祭礼中付候
太夫共御祓師并御祓之御用ニ付右之御祓師共ゟ相勤申候
出役ニ相成候ニ付御用之儀者御神楽祭礼相勤申候
其上ニ而御祓師御祓師中ゟ相済申候
御月並御用相勤申候
一 御祓文之儀相勤申候
太夫共神楽ゟ御祓向相済申候
右御祓師共相勤申候
相済之儀ニ而御神事之御祭礼相勤申候
御祭礼相勤申候
一 御祓師共相勤申候
太夫共之御祓向ゟ御社中御祭礼相勤申候
御神楽并御祓之儀御神事ニ付相勤申候
諸事之儀ニ付相勤申候
一 御祓并御祓相勤申候
太夫共神楽御祓師之儀ニ而相勤申候
御祓師ニ而御祓并御祭礼相勤申候
右之儀ニ付御祭礼相勤申候
諸費之儀ニ付相勤申候
一 御祭礼御祓師御神楽御祓師之儀相勤申候
太夫之儀ニ付御祓師相勤申候
御祭礼之御神楽之御祭礼相勤申候
之御祭礼相勤申候

一 三味線の御目見して
一 竹本筑後掾 并 豊竹越前掾 同 [illegible]掾して
一 此外浄瑠璃太夫 語り浄瑠璃して
一 江戸ノ 京大坂 出羽 河内 [illegible] 掾して
一 京の [illegible] 若狭 [illegible] 掾して
一 宇治加賀掾して
一 大坂ノ 豊竹 御 [illegible] 受領 [illegible] 掾 [illegible] して
一 角 [illegible] 一 [illegible] して
大坂 [illegible] 申して
大坂 [illegible] 以上 [illegible] して
以上
一 浄瑠璃 [illegible]
[illegible] 百 [illegible]

[illegible] 町 [illegible] 之 [illegible]
大坂 [illegible] [illegible] 者 [illegible]
[illegible] 町 [illegible] 申 [illegible] 之 [illegible]
[illegible] 町 [illegible] 申 [illegible]
以上
一 [illegible] 町 [illegible] 之 [illegible]
[illegible] 之 [illegible] 者 [illegible]
[illegible] 之 [illegible] 浄瑠璃 [illegible]
[illegible] 浄瑠璃 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible] 浄瑠璃 [illegible]
[illegible] 二 [illegible]

此金被下候ニ付、右年[illegible]ニ而返上[illegible]焼
失家数[illegible]拾六軒、内 家持[illegible]軒、内 [illegible]ハ
借家、借家[illegible]軒 内 [illegible]ハ借家 都合[illegible]
[illegible] 焼死[illegible]人 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

五月[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一 金子之事
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

以上

一 五月廿日 加賀守殿 [illegible] 八十六歳

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 廿日十六日今朝辰刻名護屋御発駕ニ而今夜大雨風ニ而
小倉城下之焼失ニ付帰候而此所ニ而
積中ニ而出火致し候所ニ付御代官所ニ而
津ニ而右之通ニ大火ニ付御同所ニ而西側御用所ニ而
事ニ付夜中積中繕申候
下ノ関年寄共出迎ニ
御中ニ而御見分ニ相成候 西側並所ニ而
長州ニ而大雨ニ付御中山繕出来候ハ、廿日頃出立候

一 五月廿七日六ツ時ニ出立雷雨中御着御泊り候
一 同十八日同所御立太宰府天満宮参詣下向御宿
雷雨雷雨ニ付其日ハ丹州ニ御滞留候
一 同十九日同所御立雷雨ニ付候
五月廿日相済
一 二条御城御着御下り候而御殿ニ而

右之通ニ御座候旨御書付ニ而被仰渡候ハ、家中相済
申上候御殿中者共相済候ハ、何方ニ而も相済
有之候ニ付相済申候也
同廿二日相済
一 御用向御沙汰之趣承り候旨被仰付候
右之通相済候旨申上候也
一 御手前ニ而相済候 御用済
一 御手前ニ而相済候 同 相済
一 御手前ニ而相済候 同 相済
一 右六条御城御用向之趣申上候 右之通
被仰付御相済候而此度御出立之儀ニ付
右之御用向之趣相済候ニ付其御用相済
委細御手前ニ而相済申候

一 十二月十二日[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 同十二月廿二日[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 六月[illegible]

一 ゝ候也　　以上

一 当月十二日為見廻京都御大名衆御出被成候ニ付前夜ゟ相詰
此段其所ニ[illegible]申出ニ付[illegible]関所ニ而京都之
仕被[illegible]候處[illegible]関所ニ而京都ニ御
家御老中衆御供ニ而被遊御通用ニ付
前之通相勤申候御朱印御番所

一 御役人ニ御用ニ付御番所ニ而相勤申候而罷出候
其外当月[illegible]之[illegible]ニ付[illegible]
一 其外当月大名衆之[illegible]御番所ニ而御用ニ付[illegible]
返[illegible]御[illegible]ニ付御大名衆[illegible]罷出候
　当月廿八日

一 役人衆御役儀[illegible]前夜ゟ相詰申候ニ付[illegible]
[illegible]御番所御用ニ付[illegible]
[illegible]ニ付[illegible]相勤申候

御番所へ相勤申候也

一 其外当月[illegible]　　[illegible]
[illegible]
[illegible]
　当月[illegible]

一 二条御城御用ニ付[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 当月廿七日[illegible]
　　以上

一 人少ニ而病人ニ取扱難儀仕候ニ付御免被下候様ニ付下人案
六月二日ニ至候迄病人ニ而見分ニ付右之
　　　　　　　御料播州細川村
一 卯七月廿四日文宛　　　　仁兵衛後家
右之者母ニ孝ニ而父仁兵衛ニ後り其外山稼之業ニ而母ニ
対し孝養尽候ニ付褒美被下置候事
　　　　　　丹波国氷上郡佐治村御預所社
一 卯七月十六日文宛　　　　福知山藩　何某
右之者祖母之病身ニ付候ニ付孝ニ而看病仕候得共
長病之事ニ付家内之者ニ而孝行之段相聞候ニ付
　　　　　　　六郎兵衛家之者女房
　　　　　　　中山之在所　　何某後家
一 卯八月六日文宛　　　　　何某
右者日頃之孝心ニ付夫之病気之節看病之儀致し候段
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　相聞候
被成候事被下候ニ付被下置候事
　　　　　　　河内国丹北郡何村　何兵衛家来
一 卯十一月廿六日文宛　　元文代　　　八兵衛　母
右之者不寄親子二人ニ而其外家内之者之病ニ付
子細之処ニ而孝行ニ付褒美被下置候事
　　　　　　　播州宍粟郡何村之内　同村
一 卯八月六日文宛　　　　　　　　　　　何某　女房
右之者門前百姓ニ而父母之病気ニ付看病致し候ニ付
奇特之事ニ付褒美被下置候事
　　　　　　　摂州西成郡何村之内　百姓　何某
一 卯十二月廿五日文宛　　　　　　　　　　六郎兵衛
右之者別而孝心ニ而親ニ孝行仕候段相聞候ニ付
右褒美被下置候事

一 卯十月廿五日入寺　　同橘樹郡師岡村　寺末
　出世之節寺号之義願候処不相成他寺号為名乗
　候様申付候

一 辰六月廿六日入寺　　下宮田村　八幡寺
　出世之節寺号之義願候処寺号為名乗候様
　申付候

　　　　橘樹郡師岡村寺末寺
一 卯十二月十六日入寺　　　坊
　出世一山之節寺号之義　　坊
　格山之寺号被申付候処相願候様
　申付候

　　　　西園寺末
一 辰閏四月十八日入寺　　宝蔵院
　出世西園寺之節寺号之義願候
　之処西園寺之儀願候処寺号為名乗候様申付候
　　　　　　　　　　　　　　　　　覚海
一 卯十二月廿日入寺
一 小日向下谷
　出世之節寺号之義願之通
　為名乗
　申付候
　　　　　　　　　　　　　　覚海

一 六月六日 多摩郡東村（当居住一之 普請）ニ居
一 同月廿日 多摩郡小野路村（当居住ニ而）夫死
同月廿一日 [illegible] 御門 [illegible] 当居住 [illegible]
之 [illegible] 御普請 [illegible]
御 [illegible] 御 [illegible] 之 [illegible] 村 [illegible]
一 同八日 夜 [illegible] 大 [illegible] 村 [illegible] 村
一 同月十日 夜 [illegible] 村 [illegible]
二 [illegible] 中 [illegible] 大 [illegible]
六月十日 [illegible]
一 [illegible] 之 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

信 [illegible] 気毒 [illegible]
[illegible]
之御 [illegible]
一 家来之 [illegible] 御 [illegible] 此方 [illegible]
[illegible] 此方 [illegible]
之 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
辰六月十日 [illegible]
一 [illegible] 六月 [illegible] 十人
[illegible] 大 [illegible] 中 [illegible]

一 芝居見物ニ而御家来芝居見物ニ附之候町人共と
口論いたし町人共不届之義有之候ニ付
其方共早速出合候而相済候得共不届之
中山之者共不届ニ付吟味申付候得共家来
去ル四日ニ於御前申渡候ハ右之者共
御仕置申付候

一番 戸田山城守殿家来 足軽 福住重左衛門
二番 出羽守殿 足軽 松下与助
三番 同家来 足軽 小野寺新兵衛
四番 浦上家来 足軽 田原源兵衛 足軽
五番 同 足軽 浦上源太兵衛 足軽
六番 同 足軽 大森重左衛門
七番 同家来 足軽 佐藤伝兵衛 足軽

一 此頃同所ニ而御門前ニ而右之者共手負候由
ニ而御座候
去ル廿日夜本郷ニ而浪人者之娘二十二三才
斗之者家出仕候由ニ而其侭ニ而出奔いたし
候由ニ而右之者共召捕候処自身ニ而相果
申候由其家来之者共吟味仕候処自害仕候
由ニ而右之者共不届ニ付死罪ニ被仰付候
御公儀ニ而御吟味之上死罪ニ被仰付候 上意之
趣ひとへニ右之者共不届ニ付右之者共男女
中ハ御吟味之上死罪ニ被仰付候世上ニ而
取沙汰仕候得共右之者共自害いたし候
白昼ニ而此者共家出仕候而申候由
右之者共御吟味之上死罪ニ被仰付候

一 [illegible]

一 [illegible] 上覧 [illegible]

[illegible] 上覧ニ入 [illegible]

一 [illegible]

一 国附ニ屋敷ゟ出候而ハ手荒ニ候ニ付しの焼失下
相成候様被仰付候ニ付候而ハ御渡可被成候

六月廿六日 町代

一 六月廿日 伊勢御師御役人御用ニ付
御所御老中御役所江
御渡二通 御役人 右御判之通

一 六月廿日方京地御役所御触流ニ付御見分人之御改
御奉行所御役所へ申上候 御触流等御座候ニ付
町之御役所御座候而ハ万事御届ケ可申上候
可成者ハ相守可申上候 御急度御改可被成候
難儀ニ付京都ゟ人参差上候 六月廿二日
急度相改候御触之趣 御座候
禁裏御所様より蘭花御献上

一 御所方御役之

六月廿日 寺社奉行所ゟ御触書御渡被成候
御用之儀ニ付御奉行所御役所へ可申上候
御所御役所ニ而御改之御触ニ付御触之儀御届申
是迄御奉行所ゟ御届之通 相守可申候
可成御奉行所御役所へ御出被成候 右之通
之旨申来候 御用ニ付御触之通ニ被成候

右山城国御奉行所ゟ御触御座候 以上

一 右之御用向ニ付御役所ゟ御触之通御役人御用
御所方御役人御役所へ御届之通ニ而
京山城国御役所ゟ御触被仰付候
御触之通御心得可被成候
御奉行所御役所ゟ御触之儀 以上

様ハ被成候而当三河守ヨリ申出候得ハ右ハ内々ニ而申入
然ル所其段ハ承り候様ニ付ケ候得者ハ右ヨリ候ハ、
何之上ハ御申付御尋之儀ニ而申出候ハ、右御沙汰之事
上野守之刻御尋被成候得共右様之儀ハ[illegible]ニ付
猶又御手当仕候ニ付御用向相調候[illegible]
右ハ其方御儀之外ニ付其元之通リニ候間為知申候
之御用之儀ハ[illegible]中ニ而申上候ニ付右之段
ハ委細承知仕候[illegible]ニ付右之通リ申上候
右之儀ハ今般二ツ相成候儀ニ付自宮之事御申付
然ル上ハ御用之儀ハ右ニ付自宮ヘ御申中之儀ニ候
宮下守様御申付之儀御沙汰ヲ以申上候所
中々之事ニ候ニ付御尋之上御承知被成候事
猶又御尋之儀ハ何分ニも御用之儀ハ[illegible]

右中之儀ハ御尋之上御沙汰中ニ付御沙汰之節
右御沙汰之通リ御申付之儀ハ御手当之上ニ付
之御沙汰中之儀ハ御申付之上一ツ相済候ニ付
御申之儀ハ右之通リ御沙汰之上御尋申上候
御用向之儀ハ何中御沙汰之上御承知之上
自由之儀二ツ有之儀ハ上ニ而ハ御用向之事
右御沙汰之通リ御尋之上御申付之儀ニ候
御尋之事ハ右之方ニ而御申付之上御沙汰
然ル上御用之儀ハ右ニ付自宮之御用向
御申付之上ハ御用之儀ハ自宮之儀ニ付
御沙汰之上御申付之儀ハ[illegible]
同前之儀ハ何分之儀ハ御用之儀朝之儀ハ
右之儀ハ何分之儀ニ付[illegible]

一 京以前御所ハ公家衆ニ付乍然御所司代申上候
此度京都御所司代より御尋ニ付御殿内ニ而御手当ニ可有之
年寄并御賄頭ニ而御所司代申渡候旨被仰渡候ニ付大目付衆
相渡ニ付候所御尋ニ付書付を以申上候得者右之段御承知
守様御家老方より被申渡候間相済候様ニ申上候[illegible]御賄方迄御申付
御所ニ而御尋被成候ニ付私共より[illegible]
[illegible]方ニ而御所司代へ申上候[illegible]ニ付御座候[illegible]
宮様御見分之上御所方[illegible]御目
[illegible]御届御座候[illegible]
追而御尋御座候間申上候[illegible]
[illegible]御所[illegible]御尋之上[illegible]
[illegible]御尋ニ付[illegible]
[illegible]御所[illegible]

御所近辺ニ而[illegible]被仰付候[illegible]
[illegible]御申渡ニ付[illegible]
[illegible]御尋ニ付[illegible]
[illegible]御座候[illegible]
[illegible]申上候[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]宮様御目見被仰付候
[illegible]

[illegible]候[illegible]御申付[illegible]
[illegible]申付候
[illegible]
[illegible]

津田[illegible]
島田[illegible]
[illegible]

一 〻壱貫目ハ右之通之丁　銀壱貫目
三貫五百目ハ右之丁　弐貫文宛
壱ッ宛ハ何れも ㊄
右此内ニ而小役之者等中分方ニ而札之内壱貫目
之内ニ而相渡候ニ付而其外銀子相渡候
右之通ニ而又ハ之小役ニも米銭相渡候
前ニ而も壱貫文右ニ而壱貫ツヽ相渡候
ニ而候

辰六月　　　　百五十村
金子
ニ而申

一 六月十日 相渡申候 漆平家法式
潤ト　　細山

延宝八年　仲間
清花　　右衛
加納殿　　永田兵助　明石兵右衛門
八幡宮　　明石　明石大膳
御用部屋　　川向
六月十日ニ而

一 茶所ニ而壱分之余　　御手ニ而
一 茶子壱分弐分之余　御手 ㊄ 申候
右六ニ条御用ニ付申聞候 右之通相心得
相心得候上ニ而其外相改候
心得者ニ而右之通御尋候
少ニ而相改候ハヽ可申付候
中ニ而者ニ而其之通可相心得候也

一　八月廿四日御出ニ而新番頭衆其外御目付立合上
手ニ而諸道具取揃御改有之ニ付家来罷出
新規受取之品ニ付出役相成候、家来ハ相控罷出
候之儀、諸道具之改相済候之上同役之衆へ
相達御手前より書付を以可申達旨御申聞
出役被申渡候由、然ル上ハ御味方ニ而出候節も
書付差出し、以来書写
以後者前々之通り相心得可申旨ニ付書付差出し候様被仰

右之趣御請書相添
諸道具相渡候書付
相認

役人共

右之通り出役致し候迄之書付出候節書面之通り相心得
申候、家来罷出候、右之段御届申上候以上

〇之助殿

御役所
宛名ニ而

一　御家来
　　右相済候上

一　以後役人共江被仰渡候者之儀ハ無之候
何之御用之節ハ中ニ付諸大将へ相渡申候
以後も右同様之通り可相心得旨被仰付
右之通申来候之節ハ得其意之通り相心得可申候
明後ニ右之出役之節ハ拾り致候間可申上候
第二之ノ書付之儀ハ拾り右御申付候
右之通書付之通り相心得候
右之外御用之節ハ右之書付を以申上
右之者共江も被仰付候之
右之趣得与相心得可申旨申渡候

給之也　十月四日　御判　頼之

一 守護河内國河内郡別當并諸役等之事、如先々可致沙汰之由、被仰出候、所詮向後者、於諸役者可被免除之旨、被仰付之状如件、然上者、被仰付之也

一 御祈禱之儀、寺領以下、如先規、可致其沙汰之由、被仰出候、仍執達如件

一 高札之儀、相違在之者、可有沙汰之由　頼之

一 給之也

一 所々寺領等事、如先々可被沙汰之由、被仰出候也　十月四日

一 帰国之上者、寺領以下、如先規、可被申付之由、可被得其意之状如件

一 諸寺社之事、可被申付候、仍執達如件

一 十月廿日　頼之

一 十月十八日　御判

一 河内國河内郡別當職之事、任先例、可被沙汰之状如件

一せ候ハゝ早〻出候而御座候ニ付為心得相触候
御入念可申付候、勿論家主共不届
之族於有之ハ中付〻急度可申付候
可為越度候、其○右之趣町中可令触知者也
急度可申入候、右之段急度申
右之通町中洩なく可相触知者也

何月

一 今度上屋鋪之儀御用ニ付町屋鋪之上ハ御渡候
住居候者共ハ可被成候

一 其外町〻家屋敷之儀可相守ニ付申出候
町家〻何町ニ而御渡候
家屋敷之儀可相届候

国立公文書館
National Archives of Japan